

第2次国東市総合計画について

国東市が、平成25年度に策定した第2次国東市総合計画の内容について、説明していきます。

総合計画の構成

総合計画は、基本構想と基本計画、実施計画の3つで構成されています。



基本構想

自然に彩られた歴史や伝統の魅力と商業・産業・文化が集積した新たな都市的拠点空間の魅力の二極の観点からなる将来像を目指し、3つの重点戦略プロジェクトが掲げられています。

国東市の将来像

悠久の歴史と賑わいの空間で織りなすハイブリッド都市「くにさき」

基本目標

地元力充実、定住力促進、新活力創出で人口増加都市「くにさき」を目指します。

重点戦略プロジェクト

- ①福祉・安全・子育て充実プロジェクト（地元力）
- ②出会い・移住・担い手促進プロジェクト（定住力）
- ③新産業・賑わい・観光創出プロジェクト（新活力）

基本計画

「医療福祉・防災・人権分野」、「子育て・教育・文化財分野」、「都市計画・生活基盤分野」、「産業・観光・定住分野」、「行政経営分野」の5つの分野ごとに施策を柱立てし、主要事業を示したものです。

実施計画

基本計画に掲げられた主要事業に関するさらに具体的な取組の実施策について年度ごとに定めるものです。

第2次国東市総合計画の計画期間

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

第2次国東市総合計画

基本構想

重点戦略プロジェクト (H26年度～H33年度)

前期基本計画
(H26年度～H29年度)

後期基本計画
(H30年度～H33年度)

毎年度ローリング(施策の検証)

毎年度ローリング(施策の検証)

市民満足度調査による
施策の検証と評価、反映

市民満足度調査
H29.6
実施

市民満足度調査による
施策の検証と評価、反映

市民満足度調査
(H33)



今回変更したのは、この後期基本計画の部分だよ

総合計画全体の計画期間は平成26年度から平成33年度までの8年間ですが、基本計画は、社会情勢の変化や事業の進行に応じて4年ごとに見直しを行うため、前期4年間・後期4年間の2期に期間を分けています。



ここがポイント

現在の国東市では、地方創生に向けて人口減少対策に集中的に取り組むために、平成27年10月に「国東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、現在「総合計画」と「総合戦略」を連動させて様々な施策・事業を実施しています。

特集 あなたと創る 国東の未来



市民の皆様はそれぞれの立場で「国東市の未来はどうなるのだろうか?」と思いを巡らせたことがあると思います。

国東市の市政運営の根幹となる国東市の将来像を明らかにし、これを実現するための施策を総合的、体系的に示した「第2次国東市総合計画」。今年3月に、その総合計画の後期基本計画を作成しました。

この機会に、市民の皆様が国東市の総合計画をご理解していただきたいと考えています。それは、一人でも多くの方が本計画の示す将来像や目標を共通認識し、その上で市政に積極的に参加していただくことで、国東市が進むべき将来像により近づくことができるようになるからです。



後期基本計画の表紙

総合計画の必要性

現在の国東市は、急速な人口減少や少子高齢化、公共施設の老朽化など様々な課題を抱えています。また、市民の皆様がそれぞれ抱えている課題もあります。その課題を解決できる施策を全て行うことができれば良いのですが、施策を行う予算には限りがあります。合併後、厳しい財政状況の中、職員数の適正化等の行財政改革やふるさと納税制度の活用により財源確保に努め、可能な限りの施策を実施してきました。しかしながら、平成33年度には合併に伴う財政措置（普通交付税の上乗せ等）がなくなり、厳しい財政状況が予想されます。

そのような中、長期的な視点に立ち国東市の目指す将来像に向けて施策を実施していくことが、ますます重要となってきます。



平成28年度から交付税は合併に伴う財政措置が段階的に縮減され始めて、平成29年度には3割が縮減され、約2.8億円の減額となったんだよ。平成33年度には財政措置がなくなるから、ますます自由に使えるお金がなくなるんだよ。